

とちぎの高校生「じぶん未来学」の私立高等学校等への展開について

1 とちぎの高校生「じぶん未来学」の実施状況

年 度	実 施 状 況
平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム開発、冊子作成。 ・次年度からの学校での円滑な実施のため、事業や指導方法への理解を深めることを目的とした教員対象研修会を開催（年2回）。
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・全県立学校1年生から実施（全日制、定時制、特別支援）。 ・冊子は1年生以外の在校生、教員にも配布。 ・事業や指導方法への理解を深めることを目的とした教員対象研修会を開催（年2回）。 ・<u>私立学校には、事業の趣旨への理解を図る取組として、冊子の参考送付（各校2部）、家庭科教員への冊子配布（家庭部会経由）、教員対象研修会への案内実施。</u>
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・全県立学校1、2年生に対象を拡大（全日制、定時制、特別支援）。 ・冊子を1年生に配布。 ・事業や指導方法への理解を深めることを目的とした教員対象研修会を開催（年2回）。 ・<u>実施を希望する私立学校等に対して冊子を配布。</u>

2 私立高等学校等への展開理由

- (1) 今年度の県立学校における実施状況や教員対象の研修等から、「じぶん未来学」の実施方法や留意点などを蓄積することができた。
- (2) 私立高等学校等からも「じぶん未来学」に対する実施への関心の高まりが見られた。

3 私立高等学校等への展開状況

- (1) 実施希望状況（栃木県内）
 - ・ 私立高等学校 15校中15校
 - ・ 私立中等教育学校 1校中 1校
 - ・ 国立特別支援学校 1校中 1校
- (2) 冊子配布冊数
 - ・ 約19,000冊（平成29年度在籍生徒・教員）